

# 小中一貫教育だより

## わくわく英語村

「わくわく英語村」(市教委主催)が東条学園小中学校で7月23～25日に7～9年生(中学1～3年生)を対象に、7月29日に社公民館で5・6年生を対象に、児童生徒の希望者が参加して行われました。7～9年生は「英会話や外国の文化に興味をもち、生徒にオールイングリッシュで過ごす時間を体験してもらうこと」を、5・6年生は「英語によるコミュニケーションの楽しさを味わい、普通の英語での学びに活用すること」を目的としており、いずれもALT(外国人英語指導助手)との活動を通して英語を学ぶ絶好の機会です。

7～9年生の活動では、3つのグループに分かれて、「フルーツバスケット」や「人狼ゲームの英語版」などの簡単なゲームから、ALTが計画した様々な活動に取り組みました。参加した生徒は「ゲームをする中で、楽しく英語が話せた。」「ALTの先生の活発さに引っ張られた。」と楽しそうに活動していました。また、英語ゲームを通して各学校の生徒も自然と打ち解け、楽しい交流の場にもなっていました。

5・6年生の活動では、「加東万博で世界を体験しよう～各国のパビリオンをめぐる、英語でコミュニケーションを楽しもう～」というテーマで行われました。6つのグループに分かれ、「クラフトパビリオン」「ショッピングパビリオン」「カンントリーパビリオン」の3つのパビリオンを回りながら、ALTや友だちと英語でのコミュニケーションを行いました。また、グループ対抗で英語でのクイズに取り組み、大変盛り上がっていました。参加者たちからは、「英語でたくさん話せて楽しかった。」「来年、中学校でも3日間参加したい。」等の感想がありました。わくわく英語村は大盛況でした。



【 英語ゲームで交流する7～9年生とALT 】



【 英語ゲームを楽しむ5・6年生とALT 】

## KATO プロジェクト いじめ防止フォーラム

プロジェクトいじめ防止フォーラムが開催されました。各学校では児童会・生徒会・学園会が主体となり、いじめ問題を自分の事として捉えて、多様な取組を推進してきました。そこで今回のフォーラムでは、各校の取組を共有し、いじめ問題の解決に向けて話し合うことで、一人一人を大切にする学校づくりを自らの手で創りあげることが目的に行われました。「みんなが安心して過ごすことができる学校って？」を柱として、グループ討議を行いました。活動を終え、滝野南小学校の代表は「あいさつをすることで、やっぱり良い気持ちなり、いじめ防止につながるの、続けようと思いました。」と感想を述べ、社学園中学校の代表は「先生と生徒、小学生と中学生の仲を深められるような活動をしていきたいです。」と今後の活動に向けて、意欲を高めていました。

いじめ防止の取組を自分たちで考え実施する中で、互いに認め合える人間関係づくりを進めることが大切です。他校の取組を自校に取り入れていきたいという感想も見られ、お互いから学ぶ小中学生の良い交流となりました。

7月30日、市内の公立小中学校・義務教育学校の児童生徒の代表が滝野中学校に集まり、「KATO プロジェクト



【 お互い発表確認しよう児童生徒 】